



平成30年2月26日

各位

上場会社名 NCS&A株式会社
 代表者 代表取締役社長 松木 謙吾
 (コード番号 9709)
 問合せ先責任者 取締役執行役員専務 山口 満之
 (TEL 06-6946-1991)

業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年11月1日に公表した業績予想及び平成29年5月15日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,000	200	250	160	8.66
今回修正予想(B)	18,600	50	120	△1,100	△59.63
増減額(B-A)	△400	△150	△130	△1,260	
増減率(%)	△2.1	△75.0	△52.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	18,599	116	285	273	13.96

修正の理由

当社が受注し、納期遅延が発生していたシステム構築プロジェクトにおいて、人員の追加投入等による体制強化及び収束を図ってまいりましたが、再度の納期延期等により前回予想時から追加で58百万円の損失が発生する見込みとなりました。また、売上高につきましても、上記人員を追加投入したことにより、他のシステム開発プロジェクトにおいて人員が確保できず売上の機会を逸したことや、当期での受注が確定せず翌期にずれ込んだ案件もあり、当初予想を下回る見込みとなったため、営業利益、経常利益ともに前回予想を下回る見通しとなりました。

さらに、当社が保有する無形固定資産(ソフトウェア)の一部につきましても、評価をより厳格に行い減損処理を行ったことによる特別損失1億19百万円を計上するとともに、当期の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検証した結果、繰延税金資産10億60百万円を取り崩し、法人税等調整額を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回予想を下回る見通しとなりました。

その結果、平成29年11月1日発表の業績予想の修正から上記のとおり修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成29年5月15日発表)	—	0.00	—	10.00	10.00
今回修正予想	—	—	—	8.00	8.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成29年3月期)	—	0.00	—	8.00	8.00

修正の理由

当社は、収益力の向上、財務体質の強化を図ることで安定的な配当を継続することが重要と考えており、平成29年5月15日に公表いたしました「平成29年3月期 決算短信」において、平成30年3月期末の配当予想を1株当たり10円としておりましたが、上述のとおり通期における親会社株主に帰属する当期純利益の予想が期初予想を下回る見通しとなったことを踏まえ、収益力及び財務状況を総合的に考慮した結果、誠に遺憾ながら期末配当金を1株当たり8円の予想に修正いたします。

(注) 今回の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上